

きよなん



議会だより

〒299-2192 千葉県安房郡鋸南町下佐久間 3458
議会事務局 TEL 0470-55-4804

第 100 号



安房都市消防本部館山消防署合同庁舎

はやわかり

3 月定例議会	
介護保険料改定	2 ページ
補正予算	
基金に 1 億 118 万円積み増し	3 ページ
一般質問	
三国・鈴木の 2 議員	4～5 ページ
予算審査特別委員会	
議会のインターネット中継を	6～7 ページ
裏表紙	
議会だより 100 号記念	8 ページ

3月議会

4月から介護保険料改定

月額基準額 194円増で4,709円に

月額基準介護保険料 単位：円

市町名	新保険料	旧保険料	増額
鋸南町	4,709	4,515	194
南房総市	4,893	3,808	1,085
館山市	4,740	3,900	840
鴨川市	4,998	4,255	743

介護保険料は、3年ごとに見直すことになっており、平成24年度から26年度までの介護保険料に係る条例改正案が提出された。月額基準保険料は、4515円から4709円（1

積極的な介護予防も効果

3月定例議会は、会期を7日から15日までの9日間として開催した。議案は議員発議案が1件、町長提出議案は、23年度補正予算案6件、24年度当初予算案6件の他、条例制定及び改正や追加議案による教育委員会委員の任命など25件が提案された。このうち24年度予算案については、予算審査特別委員会を設置し審査した。また、一般質問は三国・鈴木の2議員が質問席にたった。

94円増)になるが、サービス給付費見込み額等を基に算定する保険料は、介護給付費準備基金及び財政安

定化基金交付金の活用とともに、積極的な介護予防事業の効果もあり、保険料の値上げを4%に抑えた。結果的に安房管内では一番低い保険料となり、全員賛成で可決した。

暴力団排除条例の制定

地域社会から暴力団排除を進めていくためには、県

や市町村が相互に連携し、対策をとる必要があること

から、新たな条例が提出された。この条例は、暴力団の排除に関し、社会全体で取組むという基本理念を定めたもので、暴力団が町民生活や事業活動に不当な影響を与えるという認識のもと、暴力団を恐れず、資金提供をしない、暴力団を利用しないことなど、全16条からなる。なお、第5条では、町民にも暴力団排除への協力、相談及び情報提供を求めている。全員賛成で可決した。

議員及び町職員も引き続き給料削減

議員発議（提出者鈴木副議長、賛成者正副各常任委員長）で議員報酬の10%削減を引き続き延長する条例改正案を提出した。

また、町3役の給料についても、町長30%、副町長及び教育長20%の削減を継続。一般職の給料についても

3%。管理職手当支給対象職員についても4%減額で継続する条例改正案を、全員賛成で可決した。

一般会計補正予算

主な歳出は、広域市町村圏事務組合負担金（新火葬場建設事業、常備消防費等）の確定により1,023万5千円減。千葉県後期高齢者医療広域連合負担金は407万1千円減。子ども手当費については、制度改正により1,910万1千円減。家庭用小型合併処理浄化槽設置補助金は実績を見込み378万円減。病院会計繰出金は浄化槽改修工事確定で274万2千円減。鋸南町有害獣対策協議会委託127万円増。岩井袋急傾斜地崩壊対策事業負担金280万円増。橋梁点検業務委託料確定で207万4千円減。防災行政無線固定系更新工事は事業費確定で249万円減。勝山小管理特別教室棟に係る地質調査委託費、設計委託費確定で4,694万5千円減。貯金に当たる財政調整基金は積立金増で1億118万6千円。23年度末の基金積立残高は6億4,771万8千円の見込みとなる。

歳入については、町税では、収入実績を見込み、3,608万3千円増。町民体育施設使用料は180万円増。民族資料館入館料は震災の影響等で100万円減。市町村振興宝くじ交付金は594万5千円増。後期高齢者医療給付費負担金返還金（前年度清算分）453万3千円。防災行政無線更新事業債420万円減。



調査を実施した橋

最終補正2641万円の減額

基金に1億118万円積み増し

平成23年度一般会計の補正予算は、最終補正となることから、各費目の歳入歳出を精査し、2641万8千円を減額した。なお、補正後の総額は4億5083万6千円となった。

質問 橋梁点検委託の結果は。 **質問** 橋梁点検委託の結果は町ホームページで公表しますが、1・2級町道にかかる橋のうち、3橋が緊急の修繕を要します。 **質問** 23年度末の留保資金の見込みは。

総務企画課長 約1億1千万円と見込んでいます。

質問 まちづくり補助金7団体の予算で1団体採択という事だが内容は。

総務企画課長 応募は3団体ありましたが、2団体は補助金ではなく、町の予算で対応することとなり、1団体の採択となりました。

要望 周知の方法、金額面も考慮し、団体が自立していけるようなシステムを考えてほしい。

質問 自動販売機の電気代と使用料の一部を震災を受けた東北に寄付する制度があるが。

総務企画課長 承知していませんでした。

要望 鋸南町のPRにもなるので是非お願いしたい。

質問 財政調整基金の積み立て目標は。積み立ても良いが住民サービスの低下にならないか。

総務企画課長 県平均（約8億円）を目標とし、行財政改革から、サービス低下にならない運営をします。

ここがききたい



いっぱい

質問

野生鳥獣による農作物の被害対策は

採石場跡地の有効利用



三国 幸次 議員

質問 野生鳥獣による農作物の被害は全国で増えています。町での取り組みとその成果をどうみているか。

町長 電気柵設置により有害鳥獣の侵入防止対策を行った結果、被害額はピーク時の平成19年度から半減をし、防止対策により大きな成果が得られたものと認識をしています。平成12年度から現在までの有害鳥獣別の累計捕獲頭数は、猿が619頭、鹿が584頭、平成14年度からはイノシシ2917頭を捕獲し、ハクビ

シンは、平成21年度から177頭の捕獲をしています。有害鳥獣の捕獲実績は、協議会会員の捕獲技術の向上の成果でもあると思います。

質問 今後の

の取り組みで、どのようなことに力を入れる必要があると考えているか。

町長 集落単位での広範囲にわたる電気柵、物理柵による効果的な侵入防止柵の設置が必要と考えます。根本的

な解決は、頭数を減らすことですので、捕獲を積極的に行っていく必要があると考えています。また、安房4市町による県への要望活



物理柵設置（赤伏地区）

動や取り組み等の情報交換の場も重要であることから、協議会の設立をし、積極的な要望活動等を行っていきます。

質問 鋸南町には操業している採石場が7カ所あり、そのうち碎石を搬出していない所が1カ所あるが、採石場の操業をやめるに当たつての条件はどんなになっているか。

町長 岩石採取の認可は千葉県が行なっていますが、認可申請書に記載される跡地整理の土地利用計画では、採取終了後の跡地は緑地或いは植林し、森林に復旧する計画となっています。

要望 ある業者が先日、採石場の跡地利用についてという地元説明会を行った。跡地の有効利用は町にとっても重要な問題だと思つて、地元説明会の内容や、今後どのような内容なのか議会としても、町としても共通認識を持つ必要があると思つるので、全員協議会を開いてほしい。



デマンドバス（山梨県北杜市）

施設運営には連携を密に 新たな交通システムの構築を



鈴木 辰也 議員

質問 鋸南町老人福祉センターは、老人福祉法に基づき整備された施設であり、今後その観点から運営していくとのことであったが、温泉化されて観光客の入場が増えてきた時に、運営方法として、福祉と観光では、観点が違うと思うが。

町長 観光の視点も福祉の視点も利用形態には変わりが無いので、特に考えなくてもいいと思います。

質問 今、保健福祉課が担当で施設運営を行っているが、保健福祉の分野を離れ

て、いろいろな施策を行っていくことはできるのか。また、今後、課同士で横の連絡を密にし、佐久間地区の重要な拠点であるという認識の下で、

町長の言うような運営方法ができるようにしていきたいが。

町長 役場の仕事はすべて一緒なので、それぞれの課が連携をし運営をしやすい形を目指していきたい。

質問 公民

館、海洋センターなどの教育施設の運営方針について経費の削減と、利用者拡大等による収入増に務めると答弁があった。今後、行財政改革を行っていく上で、どのような施策を行なっていくのか。また、その施策を立てるためにも目標が必要だと考えるが。

課長 数値の目標は難しいと考えます。また、経費の



内壁改修が予定されている笑楽の湯

削減についても、そろそろ限界にきているので、町外者の利用を増やすことで、収入を増やしていきたいと思えます。

質問 今、循環バスの料金収入とバス運行委託料の差額持ち出しが1300万円ある。この循環バスに対する支出で循環バス以上に便利で、利用者増が見込めるような新たな交通システムを構築すべきだと思うが、町で検討をしている計画があるか。

総務企画課長 デマンド型タクシー、バスの運行をしている自治体があるので、それらの状況を確認しながら検討をしていきたいと考えます。

要望 4・5年後のバスの買い替え時期までには、答えを出してほしい。

特別委員会

議会のインターネット中継を まちづくり支援事業の拡大を

議員全員で構成する予算審査特別委員会（三国委員長）を設置し、平成24年度の各会計予算の審査を行った。すべての予算を全員賛成で、可決すべきものと決定した。

主な質疑

質問 安房4市町で議会のインターネット中継をしていないのは鋸南町だけだが、

議会事務局長 自治体によって方法が異なりますが、メ

ンテナンス費用や導入経費がかかります。

要望 今後、町当局と議会で話し合いを望む。

質問 今後の鋸南町の防災対策については。

総務企画課長 予定している対策については、防災備

蓄倉庫の設置や備蓄品の購入、発電機・投光器の配備、

通信機器の整備などがあります。また、ソフト面では

避難訓練の定期的な実施や防災についての啓蒙活動に

努めたいと考えます。

質問 財政調整基金の積み立ての目安は。

総務企画課長 繰越金の2分の1は最低限積み立てを

行います。今後適切な財政運営に努める中で、取り崩し額を削減し、県平均を目標と考えます。

質問 まちづくり支援事業の補助団体と推移、実績については。

総務企画課長 11団体が継続的に活動しており、会員数や事業内容が拡大傾向の団体は7団体となっております。

要望 町を活性化させようとする団体に、引き続き支援をお願いしたい。

質問 防災行政無線は、停電時に使用できるか。

総務企画課長 バッテリーを内蔵しているので、移動系無線機については8時間利用でき、充電もできます。

質問 出産祝い金の支給は考えられないか。

税務住民課長 条例により平成5〜15年間で支給しましたが、現在は子ども手当の支給や、健康保健制度での

の出産育児一時金42万円の給付等が行われているので、考えて

いません。

要望 少子化が進んでいるので、

財政状況を考慮しながら出産祝

いの金の支給を検討してほしい。

質問 防災、観光面から松くい虫の予防対策の具体的な内容について。

地域振興課長 3つの対策を実施しています。内容は耐性強化のための薬品の注入や県による農薬の地上散布、被害木の切り倒しとその処理です。感染が確認された場合には切り倒し、粉砕焼却処理を行っています。

要望 観光面からも景観上必要な松を指定し、保全対策を行ってほしい。

質問 結婚相談の状況は。

地域振興課長 相談委員は積極的な活動を計画しています。平成22年度成婚は1件でした。

要望 人口増につながるようお願いします。

質問 住宅取得奨励金は35件以上の要望があった場合、対応は可能か。

地域振興課長 事業期間は平成27年3月まであります。そのため、年度を越えても対応は可能です。件数が多



防災備蓄倉庫備蓄品

予算審査

管理特別教室棟 25年度中に

24年度事業費 2億 8,560万円

勝山小

平成 24 年度一般会計予算総額は 39 億 2,633 万 8 千円で、前年度当初予算と比較すると、2 億 6578 万円の増で、増額の主な要因は、勝山小学校管理特別教室棟改築事業、子供のための手当支給事業や住宅取得奨励金交付事業などの予算化です。

平成 24 年度当初予算

一 般 会 計	39 億 2,633 万 8 千円
国民健康保険特別会計	12 億 5,287 万円
後期高齢者医療特別会計	1 億 525 万 6 千円
介護保険特別会計	10 億 7,259 万 7 千円



予算審査特別委員会

保健福祉課長
夜間や休日の
救急患者の受
け入れなど地
域の中核病院
としての役割
を担っている
と考えます。
今後も充実し
た医療の提供
とともに、経
営の安定化に
努めます。

いようであれば補正をお願い
します。
質問 桜観光に関して受け
入れ、集客・整備について、
どう考えるか。
町長 集客を優先し、駐車
場等の施設整備については
民間でも整備ができるよう
指導を行いたいと考えます。
また、24年度に佐久間ダム
駐車場の整備を予定してい
ます。

民間への期待だけではなく
町からの働きかけも必要だ
と思う。観光資源を有効活
用してほしい。
質問 町の文化財のレベル
は高いので、文化財審議会
は年3回は開催すべきだと
思うがどうか。
生涯学習室長 今後は開催
回数を検討します。
質問 後期高齢者医療保険
料本算定処理の委託先は、
また、他の自治体の状況

と本算定の確定時期はいつ
か。
税務住民課長 住民記録を
委託している業者へ委託し
ています。また、県内25市
町村が鋸南町と同じ業者に
委託しています。なお、本
算定の確定は7月1日です。
質問 後期高齢者医療制度
を大幅改正の情報は、
住民保険室長 社会保障と

税の一体改革において平成
24年度の国会に法案が提出
予定との情報があります。
質問 現在の施設待機者は
どれくらいか、また、施設
が増える予定は無いのか。
福祉支援室長 特養老人ホ
ームの待機者は80名です。
また、館山市に80床規模の
施設をつくる予定があると
聞いています。

質問 公設民

営としての鋸
南病院をどう
位置付けてい
るのか。

議会だより100号記念



身近に感じて

いただける議会に
議長 中村 豊

「議員、執行部がそれぞれの立場で努力している様子を正確に家庭にお届けし、理解を得よう」ということを目的に発行して、第100号となりました。発行以来町民の皆さまから、紙面についてのご指摘、また温かい励ましの言葉をいただきました。ここにあらためて御礼申し上げます。活字による情報の公開はリアルタイムとはいきませんが、より深くご理解をいただけるという良い面もあります。これからも発行当時と同じ

考えのもとに、紙面の充実を図りながら議会活動をお知らせしてまいりますので、皆さまからのご意見をいただければ幸いです。



「第100号」発行を祝し

副議長 白石 治和

平成元年4月の創刊以来、今号で記念すべき第100号を迎えられましたこと、誠にありがとうございます。議会、たよりは町政に係る重要な情報を、議会の視点から町民の皆さまにわかりやすく伝えるという重要な役割を果たしております。

議決機関である町議会と執行機関とが調和を保ちながら、それぞれの機能をいかに発揮し、町政発展に尽力してまいりたいと思えます。今後とも、町議会の皆様方のお力をお借りし、ご協力をお願い申し上げます。祝いのことばといたします。



広報委員長 手塚 節

きよなん議会、たよりが、創刊以来、第100号発行時に、広報委員会、そして委員長としてこの時を迎えられたことは、光栄に存じます。広報委員5年目を迎える、議会で行われた議論を紙面で表現する難しさを実感しています。今後ますます構成、編集に精進してまいります。

議会の日誌

2月14日 (火) 産業常任委員会協議会	3月 7日 (水)～3月15日 (木) 第1回議会定例会
2月17日 (金) 総務常任委員会協議会	3月 7日 (水) 議員全員協議会
2月24日 (金) 議員全員協議会	3月12日 (月) 予算審査特別委員会
3月 2日 (金) 議会運営委員会	3月27日 (火) 議会広報特別委員会

編集後記

平成元年に、第1号を発刊して以来、先輩方から引き継いでまいりました「議会だより」も、今回「創刊100号記念」として発行することができました。議会広報委員一同、この上ない喜びでいっぱいです。

創刊号からの議会、たよりを改めて拝見するに、口でこそ100号と言いますが、実に25年の歳月を要し、先人の方々のご苦勞を今更ながらに知らされた思いです。今後とも、読みやすく親しまれる議会報を目指し、委員一同鋭意努力してまいりますので、町民の皆様方の更なるご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

鈴木 辰也

